

免疫療法後に発症した気胸症例に関する研究

1. 研究の対象

大阪国際がんセンターで 2014 年 11 月～2023 年 6 月に免疫療法を受けられた 2436 名の患者さん。

2. 研究の概要

研究期間: 総長の研究実施許可日～2025 年 3 月 31 日

研究目的: 免疫は本邦で承認されて以来、様々な癌腫に対し適応が広がっております。それに伴い、腸炎・心筋炎・糖尿病など種々な免疫療法に伴う副作用が報告されるようになりました。2023 年 7 月時点では免疫療法と気胸発症の関連性はまだ報告されておきませんが、当院での治療経験上では免疫療法施行された患者さんは気胸を発症しやすい可能性があります。そこで、免疫療法と気胸発症間の関連を調査し、副作用出現の予防に役立ていきたいと考えます。

研究方法: 研究対象者の方の診療録を後ろ向きに調査し、治療経過、背景因子、治療アプローチ、予後などを評価します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

①基本情報

性別、年齢、原疾患、腫瘍占拠部位、腫瘍径 病期

②手術と病理学的診断、術後治療

気胸発症日、手術介入の有無、切除標本の病理学的検討

③予後情報、再発後治療

気胸再発の有無、生死と死因、最終生存確認日 など

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

大阪国際がんセンター 呼吸器外科 小林 政雄

住所: 〒541-8567 大阪市中央区大手前3-1-69

電話: 06-6945-1181

研究責任者: 呼吸器外科 岡見 次郎

-----以上